

中学校 英語

▶ 動画「Song for the Voices」▶



▶ 動画「学んでみよう!子どもの権利」▶



活動名 自分の“こえ”を英語で表現してみよう。

学習活動

指導上の留意点

Warm Up

導入

展開

終末

Word Bingo

- 本時の活動に必要な語彙をビンゴ形式で学習する。

Activating (Pre-Task)

- 生徒にとって身近な話題を英語で紹介しながら、生徒に質問し、本時の内容を想起させる。
例) 人権週間についての朝礼講話、前時までに行ったレッスンから人権に関わる話、など。

Input

- (1) 動画視聴『Song for the Voices』
- (2) <個人>ワークシートの①②に解答しながら、歌詞の英文の内容理解を深める。
- (3) ②の解答を全体で共有する。
- (4) 動画視聴『学んでみよう!子どもの権利』
子どもの権利について理解を深める。

Output

- (1) <個人>ワークシートの③
[「子どもの権利条約」第1～40条](#)も参考に、自分たちの“こえ”を表現する。
- (2) <グループ>ペアやグループで伝え合う。
- (3) <個人>ワークシートの④
③で書いた自分の“こえ”を英語で表現する。

- 英語にした自分の“こえ”を吹き出しに書いて、黒板の模造紙に貼る。友だちの“こえ”に目を通す。

- ビンゴシートに単語を事前に記入させておく。
- 先生の後について発音練習をする。
- 先生が読み上げた単語にチェックを入れる。
- 写真なども使いながら行い、生徒の興味や関心を喚起する。
- 動画を利用し、曲の世界観をつかませる。
- ワークシートは、ICTを活用してもよい。
- なるべく生徒から意見を引き出しながら進める。
- 『Song for the Voices』は今後の授業の冒頭などで繰り返し歌っていくとよい。
- 自分が特に大切にしたいと思う条文の番号と理由を、まずは日本語で書く。
- それぞれの“こえ”を英語で表現できるように支援する。言語に関するサポートを適宜行う。必要に応じてインターネットの翻訳機能を使用してもよい。
- 吹き出しはワークシートを活用しても、別の用紙を用意しておいてもよい。

板書計画例

Thursday, January 23rd, cloudy

写真

写真

Voices from Josui Junior High School

More choices

Let's say your opinion.

More Family Time!

Everyone can fly anywhere!

Don't destroy the treasure.

We are unique

本時の目標

自分の“こえ”を英語で表現する。

本時の流れ

1. Special Bingo
2. Q&A
3. English Song
4. Video
5. Writing